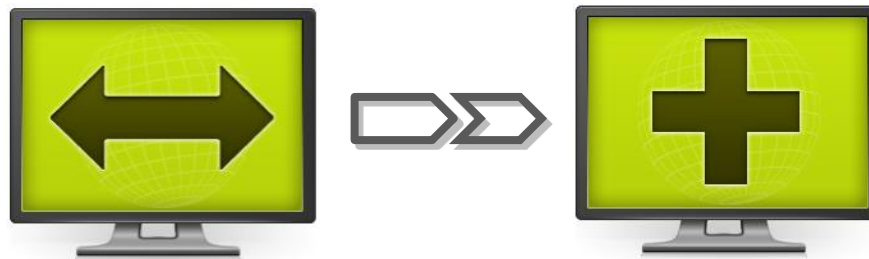


常駐接続 (ISL AlwaysOn) Wake On LAN 設定ガイド



株式会社オーシャンブリッジ
www.oceanbridge.jp

Wake On LAN機能について

Wake On LAN（以下WOL）機能とは、ネットワークを通じて手元のコンピュータから離れた場所にある端末の電源を入れる機能です。

ISL AlwaysOn(Ver. 2.1.0以上)のWOLは、Magic Packet（マジックパケット）※方式を採用しており、ご利用いただくには一般的なWake On LAN製品と同様に、以下7点の確認および設定を行う必要があります。

1. 電源、マザーボード、OSがACPI機能に対応している
2. PCIバスからの電源投入にチップセットやバスに対応している
(※上記1, 2については、特殊な環境下でご利用の場合を除き、Windows XP以降の端末をお使いの場合には、ほとんどの場合対応しています)
3. BIOSの設定で、Wake On LANによる起動を有効にしている ※
4. ネットワークアダプタ（カード）がMagic Packetを解釈し、受信できる
5. 内向きUDPポート2304が解放されている
6. ルーターがブロードキャストアドレスを許可している
7. 同一ネットワーク内に、電源の入っているISL AlwaysOnインストール済みの端末が最低1台存在している

※Windows 8、8.1の場合、環境によっては3.のBIOSの設定に加え、高速スタートアップ機能を無効にする必要があります。

次のページ以降でそれぞれの設定方法をご案内いたします。

1. 電源、マザーボード、OSがACPIに対応している

電源、マザーボード、OSが、ACPI 2.0 (Advanced Configuration and Power Interface) に対応している必要があります。

※詳しくはお使いの製品のメーカーHPをご参照ください。

2. PCIバスからの電源投入にチップセットやバスに対応している

チップセットやバスが、PCI (peripheral component interconnect) 規格Rev. 2. 2 に準拠している必要があります。

※詳しくはお使いの製品の、メーカーHPをご参照ください。

【補足】

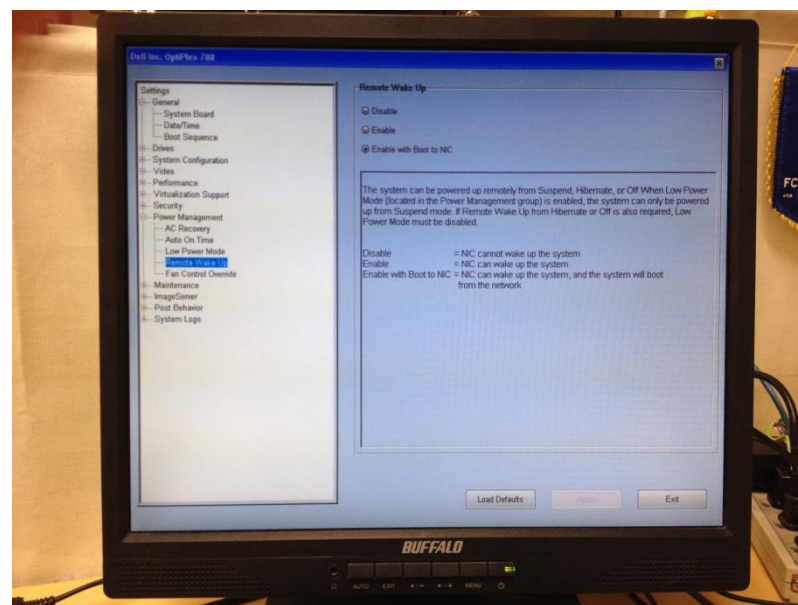
上記1、2については、特殊な環境下でご利用の場合を除き、Windows XP以降の端末でほぼ対応しています。

3. BIOSの設定で、Wake On LANによる起動を有効にしている

BIOSの設定で、WOLを有効にする必要があります。

(※BIOSの設定はお使いの製品によって異なります。また、メーカー出荷時に、WOLの設定が有効になっている場合もあります。
詳しくはお使いの製品のメーカーHPをご参照ください)

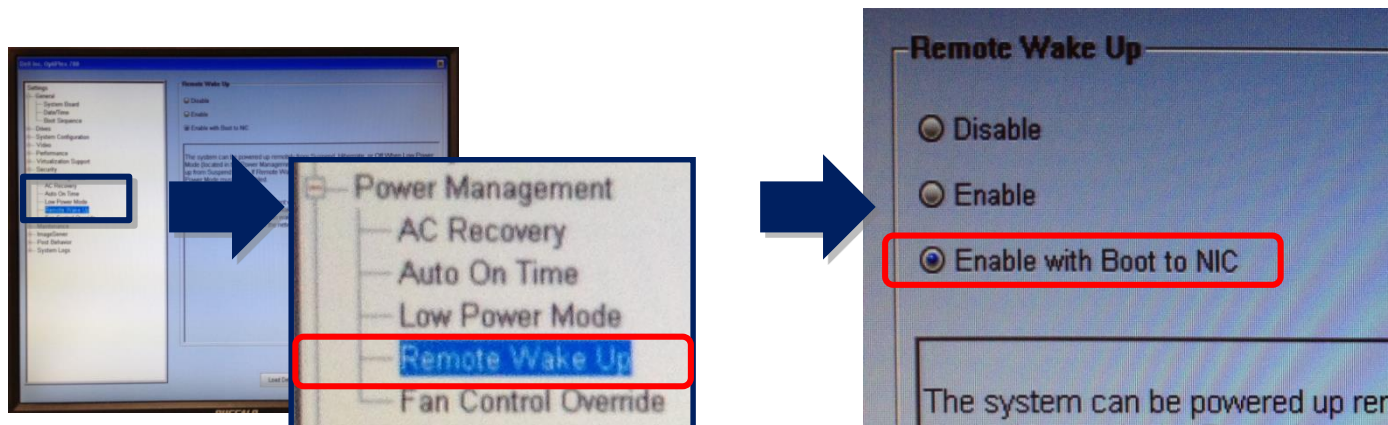
次のページに、WOLを有効にするためのBIOSの設定例
(Dell™ OptiPlex™ 780の場合) をご案内いたします。



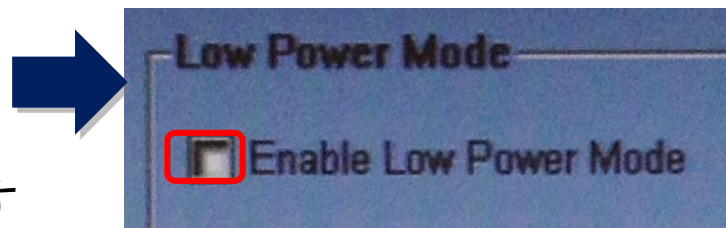
3. BIOSの設定で、Wake On LANによる起動を有効にしている

【例】 BIOSの設定 （ Dell™ OptiPlex™ 780の場合）

- ①起動中に[F2]キーを押し、BIOS画面を呼び出します
- ②[Power Management] > [Remote Wake Up] > [Enable with Boot to NIC]をONにします



- ③続けて[Power Management] > [Low Power Mode] > [Enable Low Power Mode]のチェックを外します



- ④設定を保存し、BIOS画面を閉じます
- ⑤パソコンを再起動します

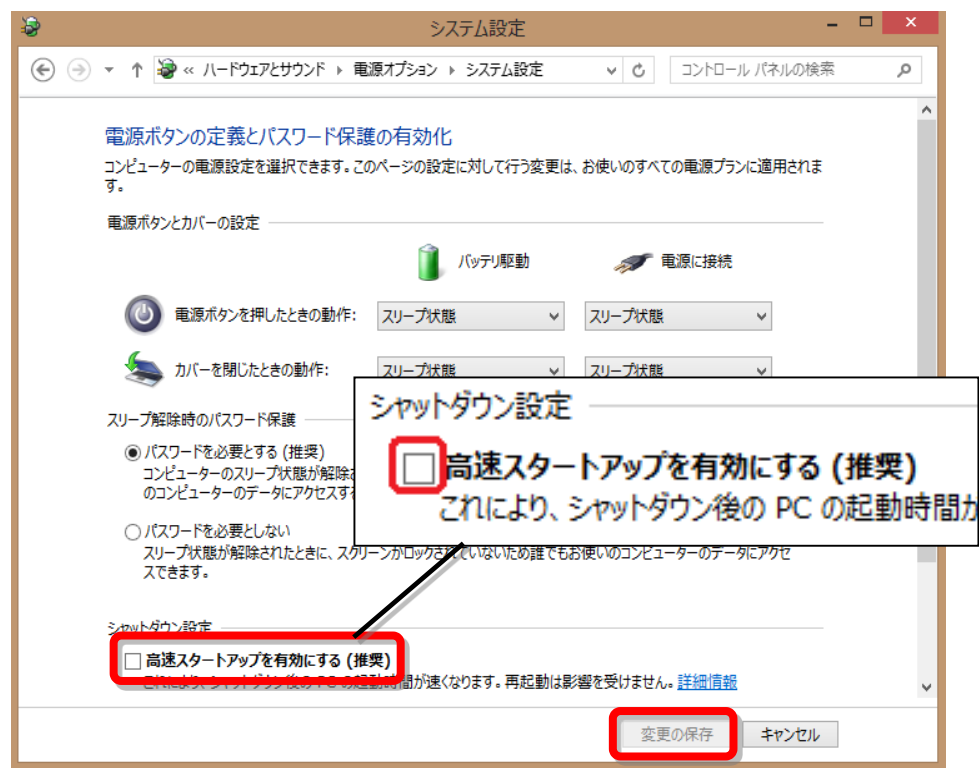
3. BIOSの設定で、Wake On LANによる起動を有効にしている

【補足】

Windows 8、8.1の場合、環境によりBIOSの設定と一緒に「高速スタートアップ」を無効にする必要があります。

【高速スタートアップ】を無効にする方法

1. WindowsキーとXキーを同時に押し、「電源オプション」を選択します
2. 「スリープ解除時のパスワード保護」をクリックします
3. 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします
4. 「高速スタートアップを有効にする（推奨）」のチェックを外します
5. 「変更の保存」をクリックして保存します
6. 再起動を行います



4. ネットワークアダプタ（カード）がMagic Packetを解釈し、受信できる

- ・ 起動するコンピューターのネットワークアダプタ（カード）が、Magic Packetを解釈できるものである必要があります。
（※詳しくはお使いの製品のメーカーおよびNIC（ネットワークカード）のHPをご参照ください）
- ・ また、ネットワーク接続の際は、有線LANを使用する必要があります。

なお、お使いの環境によっては、Magic Packetを受信できるよう、あらかじめネットワークアダプタに関する設定を行う必要があります。

（※ネットワークアダプタの設定は、製品によって異なります）

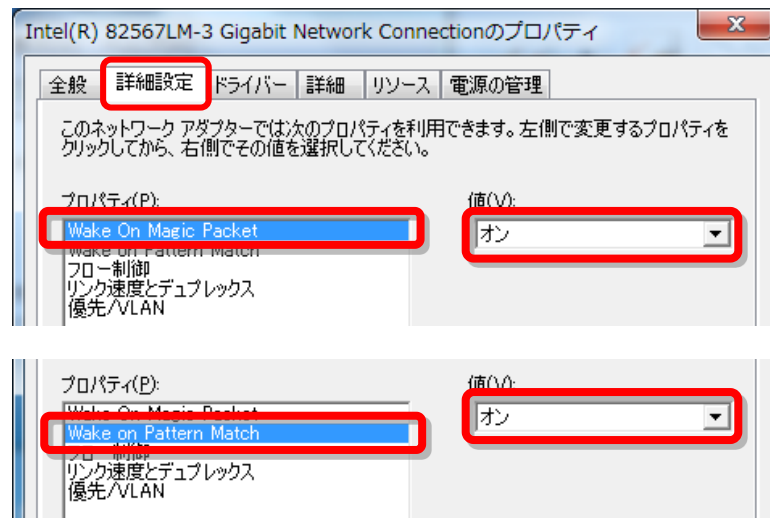
次のページに、WOLを有効にするためのネットワークアダプタの設定例（Intel® 82567LM-3 Gigabit Network Connectionの場合）をご案内いたします。

4. ネットワークアダプタ（カード）がMagic Packetを解釈し、受信できる

【例】 ネットワークアダプタ（カード）の設定

（Intel® 82567LM-3 Gigabit Network Connectionの場合）

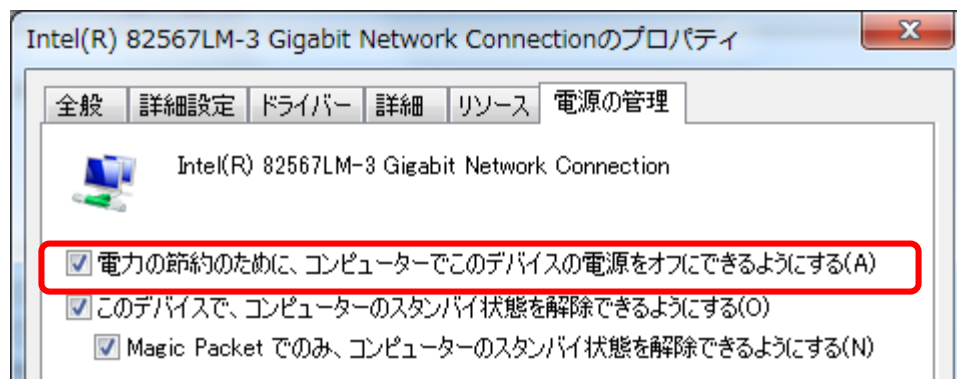
- ① スタートボタンをクリックし、コントロールパネルをクリックしてネットワーク接続を選択します
- ② 変更したいネットワークアダプターのローカルエリア接続を右クリックし、[プロパティ]を選択します
- ③ [構成]をクリックします
- ④ [詳細設定] タブをクリックして、[Wake On Magic Packet] および [Wake On Pattern Match]の値を「オン」にします



4. ネットワークアダプタ（カード）がMagic Packetを解釈し、受信できる

⑤同じく[電源設定] タブをクリックして、以下3つのオプションを「オン」にします。

- ・ [電源節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]
- ・ [このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする]
- ・ [Magic Packetでのみ、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする]



⑥設定を保存し、パソコンを再起動します。

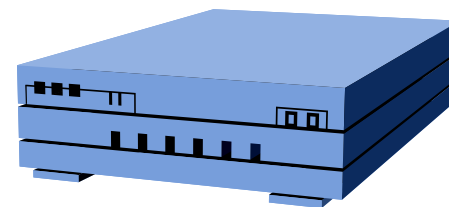
5. 内向きUDPポート2304が解放されている

ネットワーク機器の内向きのポート（プロトコル：UDP）2304番が解放されている必要があります。

6. ルーターがブロードキャストアドレスを許可している

ブロードキャスト（ダイレクトブロードキャスト）アドレスを許可するよう、ルーターを設定する必要があります。

※ルーターの設定は、各製品によって異なります。詳しくはお使いの製品のメーカーHPをご参照ください。



7. 同一ネットワーク内に、電源の入っているISL AlwaysOnインストール済みの端末が最低1台存在している

ネットワークの外部から端末にアクセスしてWOLを実行する場合は、同一ネットワーク内に、電源が入った(※)ISL AlwaysOnがインストール済みの端末が最低1台必要です。

※【補足】

ISL AlwaysOnのサービスが動作している必要があります

(休止、スリープ、スタンバイの状態ではISL AlwaysOnのサービスは動作していません)

また、中間にL3スイッチやルーターが存在し、それらの機器の電源がオフの状態である場合は、その先の端末にアクセスすることができません。

その場合は、すでに起動しているマシンに一度アクセスしてから、その端末経由でネットワーク内にブロードキャストでマジックパケットを送信する必要があります。

製品についてのお問い合わせは、
以下 株式会社オーシャンブリッジまでお問い合わせください。

ISL Online 国内総販売代理店
株式会社オーシャンブリッジ
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-20-8
寿パークビル 7F
URL: <http://www.oceanbridge.jp/>



つかえるITを、**世界から。**

ISL Online 開発元
XLAB d. o. o.
Pot za Brdom 100
SI-1000 Ljubljana
Slovenia, EU
URL: <http://www.xlab.si/>

